

## 令和５年度淀川区区政会議第２回コミュニティ力向上部会議事要旨

日 時：令和５年８月９日（水） 午後６時２９分～午後７時５１分

場 所：淀川区役所 ５階 会議室

出席者：

- ・ 委員６名（９名中）  
浅井委員、大西委員、寺田委員、中井委員、水本委員、山本委員
- ・ 区役所  
岡本区長、橋本副区長、田口政策企画課長、畑中総務課長、山田市民協働課長、大橋政策企画課長代理、仲谷市民協働課長代理ほか

内 容：

- １．開 会
- ２．区長あいさつ
- ３．議 題
  - （１）地域活動の担い手を増やすには
  - （２）区政会議のより効果的な運営について
  - （３）令和４年度淀川区運営方針の振り返りについて
  - （４）令和５年３月全体会議及び５月部会におけるご意見への対応方針について
- ４．その他

資 料：

### 【当日配付資料】

- ・ 次第、進行表
- ・ 区政会議部会名簿、座席表
- ・ 配付資料一覧
- ・ ご意見票
- ・ よどマガ！８月号

### 【事前配付資料】

- ・ （資料１）令和５年度第２回コミュニティ力向上部会  
ご意見をうかがいたい内容
- ・ （資料２）令和４年度淀川区運営方針
- ・ （資料３）区政会議コミュニティ力向上部におけるご意見への対応方針

## 1. 開 会

## 2. 区長あいさつ

## 3. 議題

### (1) 地域活動の担い手を増やすには

○区政会議委員の皆様にご意見をうかがいたい内容「地域活動の担い手を増やすには」区役所より説明

- ・ 私どもの町会につきましては、5月の総会もいろいろ本当に、御迷惑をおかけしたと思っているんですけども、ただ絶対数が基本的に少なくなっているということだけは事実でございます。私どもも過去にいろいろ地域、小学校からずっといろんな活動をやらせていただきましたが、防災活動を初め、防犯から皆やってきて、やっぱり世帯数というか、今少子化という問題で子育ての問題がクローズアップされましたが、実感としてそういう方がだんだん少なくなってきたというのが一番大きな原因だと思います。

それとワンルームの場合は管理人さんがおられたらいいんですが、やはりコンタクトが取れなくて、私もかなり努力してやっていたんですが。それで最近スマホとか発信ツールがいろいろデジタル化という形であるんですが、やはり直接活動していただく機会が少ないというのが実情です。(中井委員)

- ・ 4年ぶりにうちの町会も盆踊りをさせていただいたんですが、やはり各団体で人がいないから、店を出すのも大分少なかったんですが、幸い淀川区の区役所のまちセンの皆さんにお手伝いをいただきました。西中島は専門学校が沢山あって、1日目に20名、2日も20名の生徒さんに来ていただいて、お手伝いいただきました。それが果たして地域の担い手になるのかは分かりませんが、そういうことがありました。(水本委員)
- ・ 結構若い人が離れていっているなというのは感じます。やはりいろんな役割分担、押し付けじゃないですけど、ある程度担うということがしんどいのかもわかりませんが、町会の加入というのが法的には任意である以上こちらからも強制的にはお願いできないという状態です。(浅井委員)
- ・ 例えば町会だとか、地域団体に所属すると、役員の順番が回ってくるとか、そういったことが重荷になってきたりするかもしれないので、例えば盆踊りとか、夏祭りとか、運動会とかそういうスポット的に募集をするのは効果的なのかなというように感じています。

それで、よどマガ！やホームページ等の区役所の広報媒体を活用すれば、もっと地域の担い手といいますか、スポット的な役割の方たちの応募があったりするのかなと思っていますので、どんどん取り入れていきたいなと思っています。（仲谷市民協働課長代理）

- ・仲谷課長代理が言ったように、地域の担い手、新たな形が具体的に出てきたかなと思います。できる地域とできない地域が絶対にあるので、できる地域は、18地域の見本になる形でどんどん取り入れていってもらってやっていけたらいいかなと思いました。ただ、ずっとやっていると、どうしても負担感が生じるので、スポット的というのは新たな考え方でいいかなとは思いますが。（畑中総務課長）

## （２）区政会議のより効果的な運営について

○区政会議委員の皆様にご意見をうかがいたい内容「区政会議のより効果的な運営」について区役所より説明

- ・私がいつも思うのは同じメンバーなので、時々入れ替えて、もう少し他の人も参加してもらって、いろんな意見を出していただいたほうがいいと思います。我々の頭の中にある発想の仕方というのはもう皆決まってしまうので、もっといろんな視点で物事を見れるんじゃないかなというふうには思っているんです。（浅井委員）
- ・せっかくいろいろと考えていただいて、職員さんと我々の席を隣同士にしたからといって、私は何もないと思います。会議が堅いんですね。別に柔らかくやれというわけではないけれど、もう少しテーマを何か一つに絞ってやればいいと思います。どちらかと言うと話すのが苦手なので、もう少し自由に話せるような雰囲気をつくっていただきたいなと感じました。（水本委員）
- ・席順を変えたとか、いろんなことをやっていただいているということで、本当に努力いただいているなと感じています。

それで、意見交換というのはそれなりに皆さん意見を言われているということで、私は別に問題ないと思いますが、少し違う観点で言いますと、やっぱりもっと女性の方が活発に本音のところで話すようなことがないと、前へ進まないと思うんですね。我々のような男性が話しても表面的な話になりますので、何とか努力していただいて、一番生活のベースを知っておられる女性の意見を言っていただくような方に来ていただかないと、幾らどんなふうにやったらいいかを考えても、本質的な問題がクローズアップされないとは思いますが。だから、どういう人の意見をどういうふうに話してもらうかということも含めて、根本的にやり方も考えていただいたほうがいいかなと思うのと、テーマが大き過ぎて、本当に何回かしか出てこなくて話をする場ではなかなか結論が決まらないので、テーマを絞って一つのことで1年間話をし続け

るほうがより意見がクリア、具体的に形になって結果が出てくると思います。  
(寺田委員)

- そもそもの区政会議の趣旨といいますか、僕たち委員に求められていることというのは何なのかなというのを考えないといけないんじゃないかなと思いました。今まで通じて思ったことは、結構マイナスな意見のほうが多かったかなというふうな、後ろ向きな意見のほうが多かったかなと思うので、そうじゃなくて、自分は地域、結構町内会長さんとかされている方が多いので、その現場の意見をどうしたらよくなるかという建設的な意見を言ったほうがよりいい方向に進むんじゃないかなというふうには思いましたし、今後そういう意見が出ないと、この会議自体が有意義じゃなくなるのかなというふうには思いました。(大西委員)
- 区政会議にどんなことを求めているのかについては、大きく2つあると思っています。1つは、我々淀川区政を進めていく上で、区政会議委員さんにそのチェックを果たしていただきたいということと、あともう一点は、区政会議委員さんから自由な御意見を我々は拝聴したいという、その2点かなというふうに思っています。

それで、少し区政会議委員さんにも誤解があるんですけど、決して皆さんに役所と同じレベルで議論してくださいというつもりはさらさらなくて、確かに今日も議題の中の一つに入っていますが、運営方針について意見をくださいということになっているんです。これはもう条例上そうなっているんで、これは諮らざるを得ないんですけれども、別にこれをきっちり読み込んで、役人と同じレベルで議論してくれというのは全く思っていないくて、極端な話、御自身の中で興味のあるところをちょっと見ていただいて、御自分の立場から御意見を言っていただければいいのかなというふうに思っているんです。

自分のしゃべりたいことをもう自由にしゃべっていただく。

年間で一つのテーマで2年間議論していきましょうという部会もあってもいいし、自由に言わせてよというようなやり方もあるのかなと思いました。

(岡本区長)

### (3) 令和4年度淀川区運営方針の振り返りについて

- 一番最初に防災対策というのがありますが、この防災対策で淀川区に東南海地震が起こったときに一般的には3メートルとか、3.5メートルの津波が来るとニュースで言っているんですが、宮原地区で、宮原小学校の近くに標高を書いてあり、ゼロメートルとなっているんです。ということは完全にあの辺りは水没してしまいます。だから自分の住んでいるところがどれぐらいの高さで、

津波がどれぐらいの高さで来るかというのもあるけれど、その高さの堤防があっても、津波はエネルギーを持っていて、水をぐっと押し込んでくるので、波の高さと実際の堤防の機能では、波の高さのほうが遥かに高く水が押し込められます。ですから、ローリングストックで普段からの備えとかも大事なことです。まずは命を守るということにおいて、一体何メートルの波が来て、どれぐらいまでの波が来るかということを最大値で出していますか。（浅井委員）  
⇒南海トラフによります地震、津波については淀川区内、特に西のほうで、確か3メートルか何か、それがだんだん東に行けば行くほど少なくなっていくって、東三国の神崎川に近いところは、その淀川から来る分についてはほぼ行かないように、今のハザードマップ上であったと思いますけど、高潮とかになりますと、淀川区全体が最低でも1メートルぐらいは浸水するんじゃないかというようなハザードマップになっています。

あとは神崎川が氾濫した時は、また今度東三国、新高の方から津波が来ますので、それが想定されているようなハザードマップになっていて、そういったものが市民協働課にありますので、またおっしゃっていただければお渡しします。（山田市民協働課長）

- ・非常に少子化に向かって非常に各地域で努力されていると思うんです。その中で大阪、結構いろんな無償化とか、進んでいるところが多いと思うんですけど、ただ、そんな中でもお金だけじゃなくて、どうやって子育ての負担を減らしていくかというところでは、いろいろヨドジユクとかよど検とか、いろんな運営をされていると思うんですけども、それでも少子化がなかなか止まっていけないというような感じがしますので、一番防災が大事なんですけど、その中でその次に順番になっている子育て支援というところも引き続き重点的にもっともっとやっていただくとありがたいなと思います。（寺田委員）

#### （４）令和５年３月全体会議及び５月部会におけるご意見への対応方針について

- ・タブレットも、うちの町会もいただいた中でなかなか、うまく使えているのかなというちょっと心配はあります。私も今日が悪いもので、今日もパソコンの資料はほとんど読めないの、申し訳ないけど音声しかわかりません。デジタル化でマイナンバーなんか、私は一番最初の頃に登録しましたが、それをどんどん進めていって、情報発信を多くしていくという、コントロールも大事ななんですけど、そのコントロールが物すごく難しいと思うんです。一方で、その辺の回数を増やしていってほしいなと思います。

若い方にはこれからそういう形で増やしていかないと、タブレットもいただいているので、やはりそういう中で発表をしていっていただきたいなという思い

はございます。(中井委員)

- ・確かにもう皆さん顔を合わさないでずっとスマホだけでお話ししたりするような若い方も増えていますし、災害時、停電が起こった場合に必ず充電というのが問題になってくると思うんですけれども、皆さんの町会でも発電機、予備の発電機を準備したりとかいうような多分地域もあると思うんですけれども、果たして1台の発動機、発電機で何台ぐらいできるんだろうというのは実際やったことないのでよく分からないんですけど、そういったのも事前に調べておく必要もあるんじゃないかと思いますし、逆に、質問ですが、公用車1台でスマホ何台充電できるんでしょうか。(山本議長)

⇒今回購入予定の軽自動車の分ですけれども、カタログ上は何キロ走れるかしかが書いていなくて、どれくらいの、そういった利用として、災害時の利用のことは、あまりカタログ上書いていなくて、バッテリーの容量から割り算していけばいいんですけど、もちろん外、避難所まで行って、そこで充電となりますと、どれだけの残量が避難所で使えるのかははっきりとはわかりません。もちろん空っぽになれば区役所に戻ってきて、区役所は自家発電がありますから、そこで充電してまた行くということにはなりますが。(山田市民協働課長)

#### 4. その他

- ・議題でよどマガ！のことで、どういう視点があるかということで書かれてあったんですけど、非常によくできていると私はいつも感心しています。細かくいろんな配慮があって分かりやすいですし、絵もしっかりと、写真も使って分かりやすい冊子だなと思いますが、今回で言いますと、けなすわけじゃないんですけど、今非常に問題になっているのが、マイナンバーの話が非常に世界で、日本の中で特に取り上げられてると思うんですね。その中で、よどマガ！をつくる時期もあると思うんですけど、マイナンバーカードの記事が少しだけ出ているんですね。やっぱり今、世の中の人たちの一番の関心事というのは、マイナンバーカードの使い方というか、要はミスがない形で移行ができているかということとか、自分がどうやって保険証を移行したらいいかということがまだ分からない人がたくさんおられる中で、ここを一番最初に持ってこないといけないと思うんです。そういう関心を持っているものは何なのかということと、それに対して区のほうでどういう対応するのかということ、その視点で順番を決めていったり、紙面をつくっていくということが一番最重要課題だと私は思いますので、いろんな見やすいとかいうのは大事だと思うんですけど、一番関心があることをやっぱり最初に持っていくということではないと、人は見ていかなくなるというのが人の心理だと思うんですね。

あと、社会的弱者の人たちに対して、こういうものが読まれるということが

大事だと思うので、こういう方法をやっていますよというようなことを最初に持ってきてあげることのほうが重要で、社会的弱者の人たちに対して、いかに目を向けてもらうかということを発想の原点にしていったらいいかなと思います。（寺田委員）